

よこそうをよりよく知るためのフリーマガジン

プロムナード

毎月1日発行

2025年

1月号

Vol.381



特集『新年のご挨拶』

脳神経外科医 院長 平元 周

よこそうニュース 『Postdoctoral Awardを受賞』 他

連載

Dr.長田の認知症学事始
Dr.田中の糖尿病人物往来

谷川博士のお薬よもやま話
よこそう医療福祉情報局



はじめに

まず最初に、昨年は元旦早々に、能登半島の大地震、津波にて多くの方が被災されました。さらに能登半島を襲った集中豪雨の被害で、二重の苦しみと、未だ厳しい避難生活を強いられている人々に改めてお見舞い申し上げるとともに、一日も早い日常生活への復帰と健康の維持を祈念せざるをえません。

災害時の対応を

昨年も全国での地震の報道が絶えませんでした。東日本大震災から14年になり、30年以内に南海トラフ大地震や首都直下型地震が起こる可能性があると言われ、15年が経過しますが、まさに今年も震災への備えが必要になると思いますので、災害時の対応への意識を宜しくお願いします。

異常気象

また、異常気象にて昨年の夏は過去に経験したことのないような猛暑でした。6月から11月までの日本の気温が1898年に気象庁が測定開始した126年間で最も高い気温だったそうです。更に、海水温の上昇にて強力な勢力の台風や線状降水帯が発生し、集中豪雨や洪水被害の報道があり、日本の平均気温も世界の平均気温も過去最高を更新している現状です。

新年のご挨拶

(脳神経外科医 院長 平元 周)

CO2削減の現在

これらの最大の要因は温室効果ガス(二酸化炭素、メタンなど)と言われており、昨年も国連気候変動枠組条約締約国会議(COP29)が開催されましたが、果たしてCO2削減ができるのか、はなはだ疑問です。虚言癖と非常識な言動をとるトランプ大統領が再選され、すぐにCOPからの脱退を表明していますし、中国、アメリカ、インドというCO2排出の大国もお互いの敵対関係から協力が得られるとは思いません。日本も過去何度もCO2削減目標を掲げていますが、実行には至らず、最近では電力不足に対して火力発電が増え、原子力発電も再稼働の動きが進んでいます。今の国内政治の混乱の状況では、お金の問題が優先され、石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料を減らすという目標の有効性が疑問ですし、地球の温暖化、日本の亜熱帯化はますます進んでいくのではないのでしょうか、このような中、私達に何ができるのでしょうか？

私たちにできること

小さなことですが、節電・節水に心がけ、冷暖房の使用を最小限にする、又、できる限り公共交通や徒歩で移送し、車でのガソリン燃焼を減らす、食品廃棄物を減らし、メタンガスの発生を抑える、リユース、リサイクルを促進するなどがありますが、一人一人の温暖化に対する意識がますます重要な時代となりました。



「COP29」2024年は西アジア・アゼルバイジャンにて開催

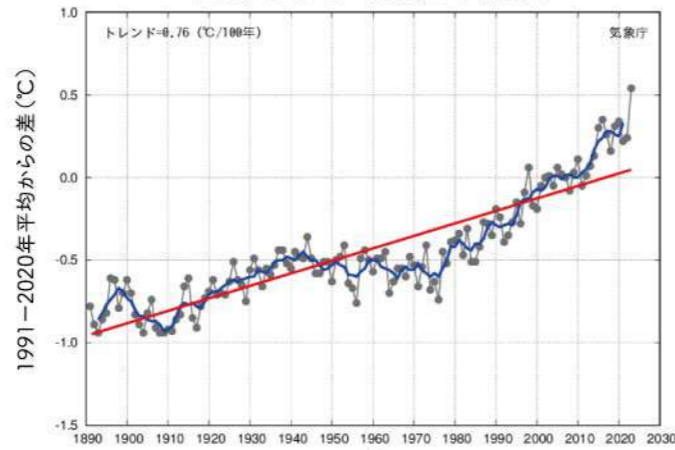
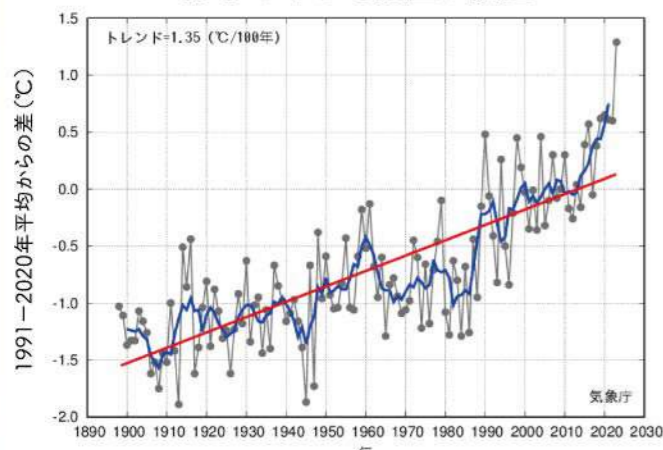
安心と安全の医療を

さて、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題が、現実となりました。日本人の人口の5人に1人が75歳以上となり、3人に1人が65歳以上という超高齢社会に突入しました。認知症患者も増え、医療・介護・福祉などの社会保障費の増大、さらには医療介護人材の不足など、大きな問題を抱えています。要介護状態となっても、病院や介護施設などではなく、住み慣れた地域で暮らしたいと考える人達を支えるため、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体化となった「地域包括ケアシステム」の構築のために、横浜総合病院は地域の中核病院として、地域の皆様に安心と安全の医療を提供し続けたいと考えています。

しかしながら、昨年からの医師の働き方改革の影響もあり、思うように実践できていないところもあります。私は北海道の利尻島の生まれで、中学までを利尻で過ごしました。当時は無医村状態になることもあり、僧侶の父と教育者の母の影響もあり、医者を目指しました。医療の大切さを体験しましたので、地域を守るという医療の重要性を人一倍強く感じています。

日本の年平均気温の偏差

世界の年平均気温の偏差



細線(黒):各年の平均気温の基準値からの偏差、太線(青):偏差の5年移動平均値、直線(赤):長期変化傾向。基準値は1991~2020年の30年平均値。(気象庁HPより <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/index.html>)

地球温暖化の影響

世界では異常高温、異常乾燥による熱波での大規模火災、干ばつによる農作物の生育不良、さらには豪雨被害に加え、飢餓や貧困で飢え死にする人が出てくるなど、世界中で地球温暖化の影響の様々な問題が起こっています。海水温が上昇し海の生態系が変化し、魚の漁獲量にも地域的な異変が起こっていますし、農作物も高温の影響で野菜、果実などの生育に大きく影響し、野菜などの値上がりが続いています。世界中の食糧問題が深刻ですし、食料自給率が低い日本での令和の米騒動も例外ではありません。



私と横総

私が横浜総合病院に勤務して35年、人生の半分を横総で過ごしたことになります。途中で北海道のへき地医療に携わるつもりでしたが、横総の経営が厳しくなった20年前に院長を引き受けざるをえなくなり、横総の立て直しのために不眠不休で頑張ってきました。私は脳神経外科医、救急医として24時間365日、断らない医療を目指してきましたが、医療界がIT化、DX化で効率性が求められる時代になり、医師の働き方改革にて労働時間が制限され、若い世代のワークライフバランスを大切にするという価値観の変化もあり、ひと昔前の時代とは大きく変わりました。赤ひげのような医者を目指した私はもう絶滅危惧種なのかもしれません。

当院のような中堅の民間病院では人材確保も

厳しく、地域の皆様に十分な医療提供ができない可能性もあります。しかし、当院でできる最大限の医療の維持を引き続き行って、生活習慣病、癌、心臓病、脳血管障害の早期発見、早期治療、予防医療にて地域の皆様の健康を守り、地域の開業医の先生方との連携、近隣の大学病院との連携をしっかりと行って、地域の中核病院としての責任をしっかりと果たし、青葉区の長寿日本一に貢献できるような今年も職員一丸となって頑張っていきますので、本年も「転ばぬ先の横総」として、よろしくお願いいたします。

今一度マスクの着用で感染対策を

さて、感染症対策ですが、今年の冬は例年よりも寒いと予想されています。今、インフルエンザが大流行し、コロナ、マイコプラズマと同時に流行するトリプルデミックの状態となっています。電車やバスの中でもマスクをつけている人は、随分と少なくなりました。しかし、当院にはコロナやインフルエンザ感染などで救急搬送される患者さんが、後を絶ちません。人ごみの中ではマスクの着用はトリプルデミックが収まるまでは、自分の身を守るためにもうしばらく続けていただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に

最後になりますが、ウクライナやパレスチナのガザ地区を始め、世界ではまだまだ悲惨な状況で新年を迎えている人たちが後を絶ちません。飢えに苦しみ、死の恐怖に怯えながら、幼子が毎日亡くなっている現状をみると、命の大切さと戦ってきた自分自身の心が張り裂ける痛みを感じており、平和な世界が来ることを今年も願わざるをえません。今年1年、皆様が健康を維持して、平和を考えながら、元気に過ごされるよう祈念してやみません。

平元 周/Makoto Hiramoto

院長
脳神経外科部長

弘前大学(1979年卒)
聖路加国際病院
弘前大学脳神経疾患研究施設
北品川病院
東邦大学客員講師
日本脳神経外科学会専門医
日本救急医学会救急科専門医



<https://yokoso.or.jp/department/neurology/neurology1>

4 Makoto Hiramoto



Dr. 田中の 糖尿病人物往来

第9回 糖尿病封じ祈願のお寺

滋賀県甲賀市は甲賀忍者のふるさと

今回の話題は平成元年までさかのぼります。私が母校の滋賀医科大学付属病院で外来診療を行っていた時のことです。ある患者さんから、「先生は糖尿病封じ祈願のお寺をご存じですか？」と尋ねられました。「今初めて聞きました。何処ですか？」甲賀郡の櫛野寺というお寺です。一年に一度、11月3日に糖尿病封じの祈願をしているそうです。この方は建設会社のエンジニアで寺院建築に興味があって滋賀県下の寺々を見て回っている間に知れたとのことでした。そこで、平成元年11月3日にこのお寺を訪ねました。周囲は田園と山林が広がり、自然にあふれた素晴らしいところでした。滋賀県甲賀郡は現在は甲賀市になっており、甲賀忍者のふるさとです。



福生山櫛野寺(滋賀県甲賀市甲賀町)延暦11年(792年)創建

櫛野寺と糖尿病封じ祈願

寺伝によると、本寺は桓武天皇の延暦11

年(792年)、伝教大師最澄が櫛の木に刻んだといわれる十一面観音の座仏を本尊(重要文化財)として開創されました。中世になり、織田信長は比叡山延暦寺の焼き討ちを始めとして近江の天台寺院をくまなく焼き払おうとしましたが、本寺は幸いこれを免れました。しかし、古伽藍は昭和43年に焼失し、本尊は再建された本堂に納められています。当時のご住職にお話を伺ったところ、「明治の中頃に坂本村(延暦寺東側の山麓にあり、明智光秀が坂本城を築いたところ)の村長さんが、糖尿病なので櫛の木を煎じて服飲したいと訪ねて来られました。その際に本堂前の櫛の古木の若枝と若葉を煎じ、併せて糖尿病封じを祈願したのがきっかけとなりました。以来、毎年本尊



糖尿封じ健康祈願のお札とお守り

開扉の11月3日に糖尿病封じ祈願と、本堂前にある櫛の古木の葉、樹皮などを煎じたものを薬湯として参拝者に提供しています。」とのことでした。お話では、毎年かかさずこの日に祈願に参拝される方が少なくないとのことでした。その後、本堂前の櫛の古木は枯れてしまいましたが、現在も11月3日に糖尿病封じ祈願が続けられており、写真のお札やお守りが授与されています。

櫛の木は糖尿病に効果があるか?

それでは、櫛の木には糖尿病に対する薬効が本当にあるのでしょうか。6000種もの生薬に関する情報が掲載されている「中薬大辞典」を見ますと、櫛の木とは常緑の針葉樹で山地の林に散生し、漢訳名は紫杉と書きます。若い枝にはタキシンという物質が含まれ、このタキシンを実験動物に注射すると、血糖が低下するとあります。しかし、その一方で中枢神経の麻酔作用、循環・呼吸抑制作用もあるため、タキシンの使用は注意が必要とされています。おそらく、坂本村の村長さんはこのことを人づてに聞いて櫛野寺を訪ねたと思われる。櫛の木は秋になるときれいな赤い実をつけます。食べられるそうですが、種にはタキシンが含まれるため種を噛んだり、飲みこんだりするのは大変危険です。タキシンは残念ながら糖尿病の薬剤として開発されることはありませんでした。おそらく副作用が強いため、新薬の候補にはなり得なかったのだらうと思います。



櫛(イチイ)……イチイ科イチイ属の常緑針葉樹

祈願は自己管理の節目に

糖尿病は食事・運動を始めとして日常生活を自分自身で管理する疾患です。神仏頼みで血糖コントロールが良くなる筈はないと言ってしまうまでもです。毎年欠かさず11月3日に参拝される方は、日常の自己管理に取り組む気持ちをまた新たに一つの節目と考えておられるのでしょうか。滋賀県甲賀市は甲賀忍者のふるさとで、平安・鎌倉時代の仏像も数多く残されているのどかな山里です。JR草津線の甲賀駅からタクシーで10分程度のところ。仏像好きの私は今も滋賀県に出かけた際には櫛野寺に時々参拝しています。横浜からは遠いですが、ご興味のある方は一度訪ねてみられては如何でしょうか。



認知症事始

にんちしょうがくごとはじめ

3つの病型

人名や固有名詞をなかなか想起できないという症状(喚語困難)は、記憶障害や失見当識などの認知機能障害に加えて、アルツハイマー型認知症の初期から見られる症状ですが、病初期には失語症状のみが際立って、他の認知機能障害が目立たず、進行性の経過を辿る神経変性疾患は「原発性進行性失語」と呼ばれます。原発性進行性失語には、「進行性非流暢性失語」、「意味性認知症」、「ロゴペニック型進行性失語(語減少型失語)」の3つの病型があります。

進行性非流暢性失語

進行性非流暢性失語は、「言葉が出ない」や「喋り難い」などの症状で始まり、「今日は朝から晴れたので寒いです」と言おうとしても、「寒い、朝、晴れ」と、語順がずれて助詞が欠落した不自然な発話になります。また、話す速度も遅くなり、発音が歪んだり途切れるので、発話の流暢さが失われますが、話を聞いて理解することや文章を読んで理解する能力は保たれます。さらに病態が進行すると、身勝手な行動が目立つようになり、「前頭側頭葉変性症」に分類されます。

意味性認知症

意味性認知症では、言葉の意味が分からなくなるので、例えば診察の途中で「利き手を教えてください」

さい」と尋ねると「キキテ」って何ですか?」と反応したり、食事中に「胡瓜のお漬物美味しいね」と話し掛けると「キュウリ」って何だ?」と聞き返すようになり、話が通じ難くなります。目を見た物の名称を言い当てることも難しくなります。アルツハイマー型認知症では、名詞を思い出せないときに答えを教えてもらおうと納得しますが、意味性認知症では、答えを告げられても、納得せず、初めて聞いた言葉のようなリアクションをします。本人には単語の意味を理解できないという自覚がないので、こうした遣り取りを繰り返します。また、漢字熟語を意味読みする「三味線」や「土産」などの熟字訓の読みも困難になり、「三味線」を「さんみせん」、「土産」を「どさん」と読み間違えますが、読み間違えたことに全く気付かないことも特徴的です。さらに病態が進行すると、身勝手な行動が目立つようになり「前頭側頭葉変性症」に分類されます。

ロゴペニック型進行性失語

ロゴペニック型進行性失語は、喚語困難が顕著で、発話量が減少しますが、話を聞いて理解する能力は保たれます。「いぬ」や「りんご」などの音節数の少ない単語の復唱はできますが、「クリスマス」など音節数の多い単語や文章の復唱が困難になり、「ねこ」を「ネド」、「みかん」を「ニガン」になるような発音の誤り(錯語)が特徴的です。アルツハイマー病が原因と考えられています。

ヘリコプター

寒い、朝、晴れ

三味線

ネクタイ

りんご

ねこ

土産

海老

海苔

ロゴペニック型進行性失語

進行性非流暢性失語

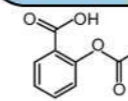
意味性認知症



次号連載第二十九回
に続きます

お薬にまつわる
あんな話こんな話
そんな話

谷川博士の



お薬よもやま話

薬剤部長
谷川 浩司

<連載第21回>

Illustration by Ken Nagata

古代の薬草と現代のお薬のつながり

古代から人々は病気やケガの治療のために薬草を使ってきました。植物は身近に存在する自然の薬として、炎症を抑えたり、痛みを和らげたりするために用いられ、こうした知識が代々伝えられてきました。そして今日、多くの現代のお薬の成分も、実はこの古代の薬草からヒントを得ているのです。

■古代の薬草が現代のお薬に変わるまで

古代からの薬草の利用は、今もなお現代医療に重要な影響を与えています。例えば、ジギタリス(foxglove)は、心臓病治療に使われる強心薬「ジギタリス」や「ジゴキシン」の原料として知られています。この植物は18世紀にイギリスの医師ウィリアム・ウィザリングによって、心不全の治療薬として注目され、現代に至るまで心臓病治療の重要な役割を担っています。こうしてジギタリスは、単なる「民間療法」から、医薬品としての地位を確立しました。*1



■ハーブから得られた現代の薬

現代の医薬品開発でも、古代の薬草の知識は重要です。例えば、やなぎ(Salix spp.)という植物は、古代から解熱鎮痛の効果があるとされてきました。この植物の成分から、現代では「アスピリン」が開発され、多くの病気の痛みや炎症を緩和するために使われています。また、古代の薬草であるニチニチソウ(Catharanthus roseus)も、がん治療薬であるビンクリスチンやビンブラスチンといったお薬の開発に役立ちました。*2

■図表で見る薬草と現代薬のつながり

表 1は、古代の薬草が現代の医薬品として活

用されるまでの流れを示したものです。このように、植物の成分が抽出・精製されて科学的に効果が確認されると、新たな薬として開発され、市販されます。

表1 古代の薬草と現代のお薬

古代の薬草	成分	現代の医薬品	主な用途
やなぎ (Salix spp.)	サリシン	アスピリン	解熱 鎮痛
ジギタリス (Digitalis purpurea)	ジゴキシン	ジギタリス製剤	心不全 治療
ニチニチソウ (Catharanthus roseus)	ビンクリスチン ビンブラスチン	抗がん剤	がん 治療

■古代の知恵を活かした現代の医薬品開発

現代の医薬品開発では、植物由来の成分が化学的に合成され、より安定した形で製品化されています。これにより、効果を最大限に引き出し、副作用を最小限に抑えることが可能になりました。たとえば、漢方薬のように複数の植物を組み合わせたものもありますが、現在では一つひとつの成分の効果が科学的に分析されています。こうした現代の技術のおかげで、古代の薬草が持つポテンシャルを最大限に引き出すことができるのです。

■薬草と医薬品の未来

古代の薬草は、今後も新しい薬の開発に影響を与えられています。たとえば、がんやアルツハイマー病のような治療が難しい病気に対しても、新しい植物成分が効果を示す可能性があります。現在も多くの研究者が、新しい薬草成分を発見するための研究を続けています。古代の知識と現代の科学が手を取り合うことで、私たちの健康にさらなる貢献が期待されています。

参考文献

- *1. Goldman P. Herbal medicines today and the roots of modern pharmacology. Ann Intern Med. 2001;135(8):594-600.
- *2. Li F-S, Weng J-K. Demystifying traditional herbal medicine with modern approach. Nat Plants. 2017;3:17109.

次号も博士のよもやまが続きます



介護保険申請について

要介護がでたら
ケアマネジャーに相談しましょう。

介護保険の申請…今でしょ



Text & Illustration by
Masami Honna
(Medical Social Worker)

介護保険の申請の流れ

申請

介護保険サービスの利用を希望する方は、区役所や地域包括支援センター（ケアプラザ）にて「要介護認定」の申請をしましょう。

認定調査

区役所職員または、居宅介護支援事業者が自宅や病院などを訪問し、心身の状態などを審査します。

主治医意見書

主治医が心身の状態について意見書を作成します。

審査・判定

訪問調査の結果によるコンピューター判定（一次判定）と特記事項および主治医意見書をもとに「介護認定審査会」で審査し、判定します。

認定・通知

介護認定審査会の審査判定にもとづいて「非該当」「要支援1・2」「要介護1～5」のいずれかの区分で認定されます。

非該当（自立）

要支援1・2

要介護1～5

地域支援事業サービス
保健福祉サービス

介護予防サービス

地域包括支援センターまたは、委託を受けた居宅介護支援事業者が介護予防サービス計画を作成。

介護サービス

居宅介護支援事業者が居宅サービス計画を作成。

サービス計画（ケアプラン）の作成

更新の申請

介護保険のサービスを引き続き利用するためには、要介護認定有効期間満了前に更新申請が必要となります。

横浜総合病院の相談窓口は地域医療総合支援センターです。
お気軽にお声がけください。☎045-903-7152（患者相談室）

Postdoctoral Awardを受賞！

先月、Postdoctoral Awardを受賞した五十嵐裕貴薬剤師よりコメントをいただきました。



【受賞した研究内容の概要】

こんにちは。薬剤部の五十嵐です。今回、慶應義塾大学大学院博士課程での私の学位論文である「β-ラクタム薬/β-ラクタマーゼ阻害薬の併用療法におけるin vivo PK/PD評価方法の構築」という研究が、幕張メッセで行われた第34回日本医療薬学会年会においてPostdoctoral Awardを受賞しました。日本医療薬学会Postdoctoral Awardは医療薬学に関連する博士を取得し、将来の活躍が期待される研究者に贈られる賞で、36名と多くの応募のなか賞を頂くことが出来ました。

感染症治療に用いられる抗菌薬（抗生剤）は、体の中の薬物濃度の推移（薬物動態：PK）と抗菌作用の強さ（薬力学：PD）を組み合わせた解析（PK/PD解析）により、治療に必要な抗菌薬の服用量と服用回数を導き出すことが出来ます。このように導き出された用法用量で服用することで、効率よく薬の効果が得られるだけでなく、抗菌薬が効かなくなる耐性菌を生み出すリスクを減らすことが出来ます。皆さんが薬局で「抗生剤は飲みきってください」と説明されるのは、適当に抗菌薬を飲んでしまうことで、次に同じ菌に感染したときに薬が効きにくくなるおそれがある為です。

これまで多くの抗菌薬はPK/PD解析により適切な用法用量が研究されてきましたが、2種類の薬を組み合わせたときの解析方法はありませんでした。私は大学院で、マウスを使って新たな解析方法が殺菌効果の指標となることを明らかにしたことで、今後の感染症治療の幅が広がることを期待しています。

【受賞についての感想】

私が博士課程への進学を志したきっかけは、奇しくも同じ幕張メッセで行われた第27回日本医療薬学会でした。当時一介の薬学生だった私は、大学の先生や病院の医師・薬剤師の研究発表に感銘を受け、いつかこの場に立ちたいと感じたのを覚えています。今回、受賞の栄に浴したことは大変喜ばしいことであると同時に、一層感慨深い思いです。これからも地道に研究を続け、世界の医療に貢献していきたいと思えます。



そんな薬剤師の色々な情報を詰め込んだHPがこちらです。ぜひぜひご覧くださいよ



<https://yokoso.or.jp/bumon/pharmaceutical>



青葉区民マラソンV2

11/24(日)に行われた第11回青葉区民マラソン大会で金子夢さん(歯科口腔外科)が10km女子総合の部で昨年に続き優勝しました。優勝タイムは37分57秒でした。

今年は天候にも恵まれ、とても走りやすかったです。沿道から沢山の応援を頂き、大会新記録、自己ベストを出すことができました。このパワーを仕事でも生かしていきたいと思っております。応援して下さいました皆様ありがとうございました。



認知症ケアチーム勉強会

11/29(金)にメロンディアあざみ野にて認知症ケアセミナーを開催しました。講師には富樫千代美先生(聖隷浜松病院/認知症看護認定看護師)をお招きし「急性期病院の療養環境で考える生活を見据えた患者へのケア」について講演していただきました。



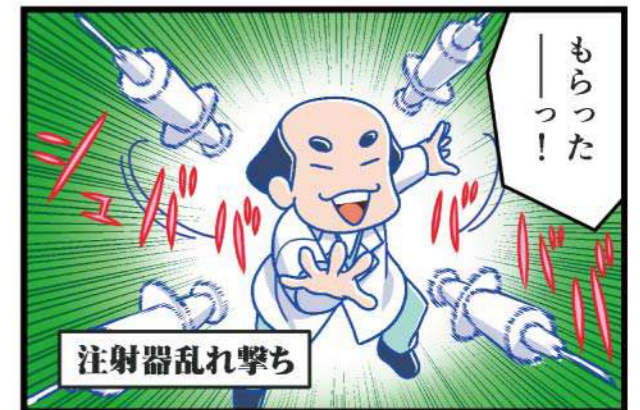
第28回青葉区・緑区認知症勉強会

12/10(火)メロンディアあざみ野にて第28回青葉区・緑区認知症勉強会を開催しました。講師には沼尾ひろ子氏をお招きし認知症予防の秘訣について講演していただきました。



職業体験の受け入れを行いました

11/12(火)と11/21(木)の二日間、職業体験として山内小学校の6年生5名が当院に来てくれました。輪投げを使用した脳卒中の患者さんへのリハビリ補助や注意の促しを体験していただきました。参加された小学生の皆さんお疲れ様でした。



すすき野YM様、KM様よりネタ提供。ありがとうございます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよこそうを宜しくお願いします。2025年の干支である「巳(ミ)」はヘビのことで、ヘビは脱皮しながら成長するため、「生命」や「再生」の象徴とされています。私自身も成長できるよう日々を大切に過ごしたいと思います。(TOMO KAWAI)

新年あけましておめでとうございます。物価の上昇、世界情勢の悪化、異常気象など、去年は暗い出来事が多かったため、今年はきっと良い事ばかり起きると根拠もなく信じております。本年もよこそうとプロムナードをどうぞよろしくお願いいたします。(TAKEHITO OGOMA)

医療法人社団緑成会
横浜総合病院附属

あざみ野健診クリニック



年に一度の健康チェックを

〒225-0011
横浜市青葉区あざみ野2-2-9
あざみ野第3ビル4F

☎ 045-522-6300
FAX:045-903-0777



私たちは定期的な健診をお受けいただくことで、皆様の健康管理、疾患予防のお役に立ちたいと願っております。ご受診を心よりお待ちしております。詳しくはHPをご覧ください。

<https://azamino-clinic.com>

- ・インターネット予約
- ・あざみ野駅より徒歩1分
- ・総合病院との連携

医療法人社団緑成会
介護老人保健施設

横浜シルバープラザ



家庭に近い居住環境で、入居者の個性やニーズに沿い、他入居者との人間関係を築きながら日常生活を営めるユニットケアを導入した介護老人保健施設です。在宅復帰や在宅療養支援等の指標が特に高い施設のみが認定される「超強化型老健施設」に区内で唯一選ばれ、全国はもとより海外からも多くの福祉関係者が視察に訪れています。

ご入居のご相談
お問い合わせは
こちらまで

〒225-0004
横浜市青葉区鉄町
2075-5

☎ 045-972-7001
FAX:045-972-7741



<https://silverplaza.jp>



路線バス

東急田園都市線「あざみ野駅」から「あ27系統すすき野団地」行き「もみの木台」下車徒歩7分

小田急線「新百合ヶ丘駅」から「新23系統あざみ野駅」行き「もみの木台」下車徒歩7分

診察時間

午前

受付 8:00~11:30
診察 9:00~12:00

午後

受付 1:30~4:00
診察 2:00~5:00

循環バス

あざみ野駅、青葉台駅、鶴川駅、奈良北団地、こどもの国駅、麻生、すすき野方面より当院直通バスを運行しております。詳しくは右記HPをご覧ください。



プロムナード VOL.381

〒225-0025 横浜市青葉区鉄町2201-5
TEL 045-902-0001

発行日: 2025年1月1日

制作・編集: 医療法人社団 緑成会 横浜総合病院
総務課『プロムナード』編集室

発行人: 岩坪 新



よこそう

